

N

F

C

## NFC CALENDAR

大ホール(2階)

K 特別追悼特集  
偉大なる“K”(1):小林正樹

Homage to Three Great “K”s - Part 1:

Masaki Kobayashi

4月4日(火) - 5月20日(土)

料金=一般410円/学生250円/小人180円

展示室(7階)

## 平成10-11年度 東京国立近代美術館新収蔵作品展

From New Acquisition to the Museum Collection 1998-1999

4月4日(火) - 5月20日(土)

料金=一般100円(50円)/学生40円(20円)/小人20円(10円)

\*( )内は20名以上の団体料金

●4月-5月の休館日:日曜日・月曜日及び企画前後の一週間

大ホール

定員=大ホール310名(各回入替制)

発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回にのみ有効です。
- 発券・開場は開映の45分前から行い、定員に達し次第締切となります。
- 開映後の入場はできません。

展示室

開室=休館日・休室日以外の火曜日~土曜日

(午前10時30分~午後6時/入場は5時30分まで)

発券=7階受付

図書室(4階)

開室=休館日、休映日、祝日、臨時休室日(5月2日(火))以外の火曜日~金曜日

(午前10時30分~午後6時/入室は5時30分まで)

偉大なる“K”  
小林正樹

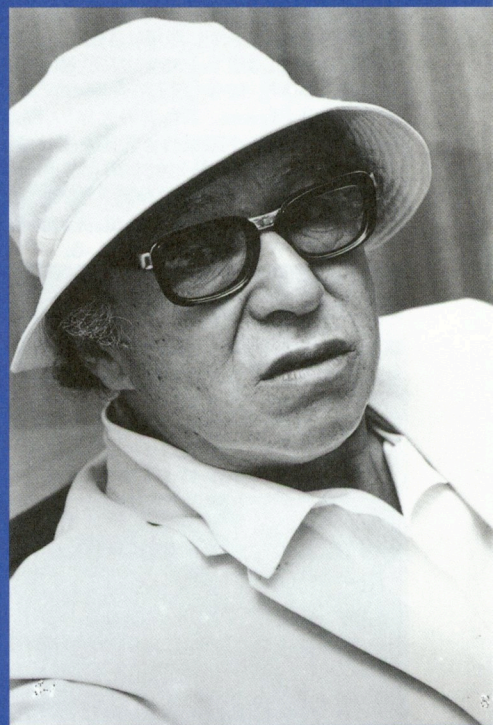
“背が高くも静かでありいつも帽子を被っている小林正樹監督。彼は自分の好き嫌いについていささかも意を曲げることがない。好きなのは、敬愛する師、木下恵介、西側世界では自らにふさわしい十全な評価をしてくれた国分ナガ、そして古美術。嫌いなのは、仕事を急ぐこと(彼は「怪談」[1964年]の時のように、日に3カット以下の撮影を理想とする)、そしてテレビというもの。”

“細部にわたる完全主義や自分の望む題材だけを仕事にしようとする強い意思ゆえに、さらにデビューが遅かったこともあって、小林の作品は同時代の監督たちに比べて驚くほど少ない。彼は自作のうちで特定のどれかが好きであることを認めようとはせず、「みんな自分の子供たちのようだ」と言ってゆずらない。一方で、自らの作品歴にひとつの方向性があることは認め、「社会に対して発言するような映画の作家になりたいと常に考えてきた」と語る。”

“ただし、小林作品には、そうした社会への発言という側面とは別に、ある一貫した美学的な傾向をも見て取ることができる。彼が美術を愛しその歴史に造詣の深いとは、映画を輝かせる彼流の方法論をみれば明らかだ。”

“音と映像と動きを配刺し統合する純粹に映画的な領域にあって、小林が作品を通して探究していること——そこには未来の芸術家が研究の対象とするであろうことが少なくない。”

— オーディ・ボック著「日本の映画監督」より



東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center  
The National Museum of Modern Art, Tokyo

2000

4-5

NFCカレンダー  
2000年4月-5月号



特別追悼特集  
偉大なる“K”(1):  
小林正樹  
Homage to  
Three Great “K”s - Part 1:  
Masaki Kobayashi

高い芸術的理想を抱いて優れた日本映画を発売し、生涯を映画に捧げた3人の巨匠が、過去3年半の間に相次いで世を去りました。

小林正樹, 1996年10月4日逝去(80歳)。

黒澤明, 1998年9月6日逝去(88歳)。

木下恵介, 1998年12月30日逝去(86歳)。

フィルムセンターでは、映画の産業的黄金時代を中心に日本中の人々を魅了しつづけ、海外でも“K”で始まる名監督として広く名を知られることとなったこの三人を追悼し、その作品を現存する最良のプリントででき得る限り多く連続上映することにいたしました。

世界映画史に大書される偉大な日本映画遺産の数々をご堪能ください。



小林正樹監督(1916年2月14日生まれ)は、1941年、松竹に入社したが、翌年には出征、復歸したのは戦後46年で、4歳年上ですでに活躍中の木下恵介監督に師事し、52年「息子の青春」でデビューするまで助監督を務めた。未曾有の大作「人間の条件」(1959年~61年)で国際的な評価を受けてからは、「切腹」(1962年)「怪談」(1964年)など、一作ごとに注目を浴びる世界の巨匠の仲間入りを果たした。完全主義ゆえの寡作でも知られたが、その映画世界は日本映画の一つの到達点を示している。

- ◎=原作・原案 ◎=脚本・脚色・潤色 ㊦=撮影 ㊧=美術 ㊨=音楽 ㊩=ナレーター ㊪=出演
- 本特集には不完全なプリントが含まれています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 作品により開映時間が異なりますのでご注意ください。

K-1 4/4(火)3:00pm 4/18(火)6:30pm 5/2(火)3:00pm

息子の青春

(45分・35mm・白黒)

新人監督の登竜門であった中篇映画を当時、松竹ではSP(シスター)映画と呼んでいた。思春期を迎えた兄弟。父は小説家、母は家庭の切り盛りで忙しい。ガールフレンドと歌舞伎見物に出かける兄、喧嘩にまきこまれて警察に保護される弟、そんな二人の姿を暖かく見守る夫妻。平凡な日常生活を表情豊かに、瑞々しい感覚で描いた秀作である。木下恵介監督の門下であった小林正樹は、この作品で有望な新人としてその名前を知られることになった。

'52(松竹大船)◎林房雄◎中村定郎◎高村倉太郎◎中村公彦◎木下恵介◎三宅邦子、北龍二、石浜朗、小園蓉子、笠智衆、藤原元二、磯貝元男、野戸成晃、新島勉、諸角啓二郎、島村俊雄、土田桂司、高瀬進、志摩良子、八乙女信子

まごころ

(95分・35mm・白黒)

勉強部屋から窓越しに見えるアパートの少女。慶大受験を控えた少年は、胸の病に苦しむその少女を見続けるうちに、淡い恋情を感じるようになっていった。言葉も交わしたことがない彼女の療養費の負担を、強引に会社経営者である父に頼み、猛勉強に励む少年だったが……。貧富の差という現実を背景に、思春期の心の揺らぎを細やかにそして詩情豊かに描きだした佳作。小林正樹は師、木下恵介のオリジナル・シナリオに見事に応えている。

'53(松竹大船)◎木下恵介◎森田俊保◎平高主計◎木下恵介◎田中絹代、津島恵子、高橋貞二、石浜朗、三橋達也、淡路恵子、野添ひとみ、須賀不二夫、千田是也、東山千栄子、永田靖、高松栄子、水上令子、大塚正義、藤原元二、長塚安司、今井金太郎

K-2 4/4(火)6:30pm 4/18(火)3:00pm 5/2(火)6:30pm

三つの愛

(114分・35mm・白黒)

自ら書き下したオリジナル・シナリオ「歓喜に寄せる」の映画化で、高原でのロケーション撮影を基調にした作品。ひたむきに野鳥を愛する精神薄弱の少年とその周囲の人物をめぐって、男女の恋愛、子を思う親の愛、神の愛、裏切った妻を許す夫の愛といった様々な《愛》の概念が交錯してゆく。「大船調」の家族劇へのアンチテーゼとして、自ら「ピューリタンな写真を作ってやろう」と決意した監督の人間探求的な姿勢が現われている。

'54(松竹大船)◎小林正樹◎井上晴二◎平高主計◎木下恵介◎山田五十鈴、岸恵子、三島耕、伊藤雄之助、山形勲、森昭治、日守新一、望月優子、櫻むつ子、進藤英太郎、細谷一郎、川口憲一郎、遠山文雄、武田法一、永末功、峰久子

K-3 4/5(水)3:00pm 4/19(水)6:30pm 5/9(火)3:00pm

この広い空のどこかに

(109分・35mm・白黒)

どこにでもある町の酒屋。働き者の若主人と嫁いできたばかりのその妻。一緒に暮らすのは若主人にとって亡くなった父の後妻である義理の母と、その子供である妹と弟。気がかりは戦争で足を悪くして家に引きこもりがちな妹。そんな平凡な家族でおこるささやかな誤解とやがて来る和解。人物の感情の流れを細やかに、かつ鮮やかにとらえたホーム・ドラマの名作。小林正樹が松竹の「正嫡」であることを告げた作品ともいえる。

'54(松竹大船)◎楠田芳子、松山善三◎森田俊保◎平高主計◎木下恵介◎佐田啓二、久我美子、高峰秀子、石浜朗、大木実、小林トシ子、田浦正巳、浦辺糸子、中北千枝子、三好栄子、日守新一、内田良平、野辺かほる、岡田和子

K-4 4/5(水)6:30pm 4/19(水)3:00pm 5/9(火)6:30pm

美わしき歲月

(125分・16mm・白黒)

花屋を営む祖母と美しい孫娘。彼女を取り巻く3人の青年は、戦死した娘の兄の同級生だった。社会の混乱期を医者、労働者、バンドのドラマーとして生きる若者たち。小林正樹は彼らばかりでなく、偶然に祖母と知り合う老紳士を登場させることで、「戦後」に対する世代差も視野におさめた厚重な作品に仕上げている。当時流行のアプレゲールなどの風俗現象に逃げない内省的な姿勢は、脚本を書いた松山善三にも共通するものだった。

'55(松竹大船)◎松山善三◎森田俊保◎平高主計◎木下恵介◎久我美子、木村功、佐田啓二、織本順吉、田村秋子、小沢栄、小林トシ子、野添ひとみ、東野英治郎、沢村貞子、石黒達也、佐竹明夫、須賀不二夫、山形勲

K-5 4/6(木)3:00pm 4/20(木)6:30pm 5/10(水)3:00pm

壁あつき部屋

(110分・35mm・白黒)

今次大戦の指導的立場にあったA級戦犯とは別に、いわれなき理由でBC級戦犯の汚名を着せられた人々の手記から、芥川賞を受賞して間もない安部公房がシナリオを構成した。大学卒業後、大船撮影所に所属したものの軍隊にとられて5年を過ごし、最後の1年は沖縄で捕虜生活を余儀なくされたという経験を持つ小林監督が、第3作として発表した意欲作。以後の作風を決定するものもあるこの作品は、政治的配慮からか公開は3年後のこととなった。

'56(新鋭プロ)◎安部公房◎楠田浩之◎中村公彦◎木下恵介◎三島耕、浜田寅彦、岸恵子、小林トシ子、小沢栄、信欣三、伊藤雄之助、元龍二、三井弘次、望月優子、北龍二、内田良平、永井智雄、林幹、横山運平、早野壽郎、井上昭文、道三重道、櫻井達雄、土方弘

K-6 4/6(木)6:30pm 4/20(木)3:00pm 5/10(水)6:30pm

あなた買います

(112分・35mm・白黒)

戦後の大衆スポーツとして絶大な人気を誇ったプロ野球。優秀な新人選手を獲得するため金銭のみならずあの手この手を駆使したスカウト合戦は当時の社会問題となっていた。そんなドロドロい裏社会を描いた原作を、木下門下の弟子である松山善三がダイナミックな構成で脚色し、小林は厚重なドキュメンタリー・タッチで映画化にあたった。人気スターの佐田や岸のシリアスな演技と、ベテラン俳優の伊藤や三井たちの絶妙な演技が見所である。

'56(松竹大船)◎小野稔◎松山善三◎厚田雄春◎平高主計◎木下恵介◎佐田啓二、岸恵子、大木実、伊藤雄之助、水戸光子、東野英治郎、三井弘次、多々良純、石黒達也、須賀不二夫、佐々木孝丸、山茶花究、十朱久雄、谷崎純

K-7 4/7(金)3:00pm 4/21(金)6:30pm 5/11(木)3:00pm

泉

(129分・16mm・白黒)

原作は岸田国士が1939年に発表した小説で、実業家の秘書(有馬稲子)と彼女に思いを寄せる若い植物学者(佐田啓二)、そして彼を慕う女性(桂木洋子)との感情のすれ違いを、浅間山麓の高原や紀州の海岸などの自然を背景に描く。監督は、岸田の「知的な珠玉のような会話を、映画に移植することの困難を感じながらも、撮影現場では「難解だった方程式がけてゆくよう」であったと語っている。

'56(松竹大船)◎岸田国士◎松山善三◎森田俊保◎平高主計◎木下恵介◎佐分利信、有馬稲子、佐田啓二、渡辺文雄、内田良平、桂木洋子、中川弘子、加東大介、小川虎之助、夏川静江、織田政雄、三戸部スエ、下元勉、小林トシ子

K-8 4/7(金)6:30pm 4/21(金)3:00pm 5/11(木)6:30pm

黒い河

(110分・35mm・白黒)

壊れかかったアパートに一人の大学生(渡辺文雄)が引越してきた。そこへ不良(仲代達矢)の率いる愚連隊が、米兵向けのキャバレーを建てるためアパートの住人たちに強引に立ち退きを迫り、さらにその不良は大学生を慕う若い女(有馬稲子)をも力づくで奪ってしまうが……。基地問題を背景として、日本映画の新たな風景描写に正面から挑んだこの作品は、また仲代達矢の出世作としても重要である。

'57(松竹大船)◎富島健夫◎松山善三◎厚田雄春◎平高主計◎木下恵介◎有馬稲子、渡辺文雄、仲代達矢、山田五十鈴、桂木洋子、淡路恵子、東野英治郎、宮口精二、清水将夫、高橋とよ、賀原夏子、三好栄子、永井智雄、佐野浅夫

K-9 4/8(土)1:00pm 5/4(木)1:00pm 5/16(火)2:00pm

人間の条件 第一部・第二部

(206分・35mm・白黒)

五味川純平の同名小説を、完結篇にあたる第5・6部まで、全9時間30分におよぶ巨大な戦争叙事詩として映画化したその緒篇。戦争に疑問を持つ梶(仲代達矢)は、兵役を逃れて妻美千子(新珠三千代)とともに満鉄調査部から老虎嶺鉱山に移り、労務管理の職を得る。劣悪な現場の環境に義憤を覚え、さまざまな横暴や理不尽と闘う彼は、結果的に上層部や軍の反感を買ひ、凄惨なリンチを受けた後、臨時召集令状を受け取る……。元来、社会と人間の関係に興味があったという小林の感受性に、自身の長い軍隊生活の体験が結びついて生まれた作品で、'60年ヴェネチア映画祭サン・ジョルジュ賞を受賞。

'59(にんじんくらぶ)◎五味川純平◎松山善三、小林正樹◎宮島義勇◎平高主計◎木下恵介◎仲代達矢、新珠三千代、淡島千景、有馬稲子、佐田啓二、山村聡、石浜朗、南原伸二、宮口精二、安部徹、三島雅夫、小沢栄太郎、三井弘次、河野秋武、中村伸郎、山茶花究

K-10 4/15(土)1:00pm 5/5(金・祝)1:00pm 5/17(水)2:00pm

### 人間の条件 第三部・第四部

(178分・35mm・白黒)

厳寒の北滿。梶は関東軍に配属され辛酸をなめる。そんな中で、思想犯を兄に持つ同じ初年兵の新城が脱走する。梶はその後、ソ満国境の青雲台地に移されて上等兵となり、寺田二等兵らの部下を任される。再会した旧友影山少尉の計らいで前線を離れるが、当の影山は玉碎する。再び前線に戻されて戦車壕を掘る梶らの前にソ連軍の戦車部隊がやってくる……。妻美千子との短い逢瀬が美しく切ない。

\*本篇上映の前に「人間の条件 第一部 第二部 梗概」(5分)を上映。

'59(人間プロ)◎五味川純平◎松山善三、小林正樹◎宮島義勇◎平高主計◎木下忠司◎第三部:仲代達矢、新珠三千代、桂小金治、多々良純、南道郎、佐藤慶、田中邦衛、内田良平、柳谷寛、植村謙二郎、岩崎加根子、倉田マユミ、内藤武敏／第四部:仲代達矢、佐田啓二、川津祐介、藤田進、千秋実、安井昌二、渡辺文雄、浜村純、小林昭二、諸角啓二郎、早野壽郎、井上昭文、牧真史

K-11 4/22(土)1:00pm 5/6(土)1:00pm 5/18(木)2:00pm

### 人間の条件 第五部・第六部

(190分・35mm・白黒)

ソ連軍の攻撃に辛くも生き残った梶だったが、あてもなく彷徨ううちに、避難民たちと合流し、さらなる危険にさらされていく。ソ連の捕虜となった彼は雪の大地に倒れる。1960年12月にクランクアップとなるまでに3年以上の歳月を費やしたこの5万フィートに達する長大な力作は、多くの人々を感動させ、また監督の名をカナダをはじめ世界に知らしめる契機となった。かつては「オールナイト上映」の定番としてしばしば全6部が一挙に上映された。

\*本篇上映の前に「人間の条件 第一・二・三・四部 梗概」(7分)を上映。

'61(にんじんくらぶ)◎五味川純平◎松山善三、稲垣公一、小林正樹◎宮島義勇◎平高主計◎木下忠司◎仲代達矢、新珠三千代、中村玉緒、高峰秀子、川津祐介、笠智衆、内藤武敏、岸田今日子、藤原子、諸角啓二郎、清村耕次、金子信雄

K-12 4/11(火)3:00pm 4/25(火)6:30pm 5/12(金)3:00pm

### からみ合い(108分・35mm・白黒)

自らの死期を悟った会社社長(山村聡)が、財産を相続させるため、入籍しなかった3人の子供たちを探し出す部下たちに命じる。財産を狙う部下たちはそれぞれ策略をめぐらせ、虚々実々の争いを繰り広げるが……。監督にとって作曲家武満徹との出会いとなった映画であり、また脚本の稲垣公一は、自らも参加した「人間の条件」の主人公梶の生き様が灼熱の「夏を想わせる」と対比して、この作品を「顔落する秋の物語」とであると記している。

'62(にんじんくらぶ=松竹大船)◎南条範夫◎稲垣公一◎川又昂◎戸田重昌◎武満徹◎山村聡、渡辺美佐子、千秋実、岸恵子、宮口精二、仲代達矢、滝沢修、浜村純、北龍二、川津祐介、川口敦子、芳村真理、千石規子、菅井きん、信欣三、佐藤慶

K-13 4/11(火)6:30pm 4/25(火)3:00pm 5/12(金)6:30pm

### 切腹(134分・35mm・白黒)

寛永7(1630)年。井伊家上屋敷の庭先で切腹を申し出る浪人津雲半四郎。不埒な浪人が切腹を理由に金品を得ようとする昨今の風潮に批判的な家老斉藤勘解由を前に、半四郎は以前同じようにここへ現われて是非もなく腹を切らされた娘婿のことを話し始める……。脚本、撮影、美術、編集、音楽、演技のすべてに完全主義が貫かれており、重厚にして巧緻、またスタイリッシュでもある小林映画の真骨頂をみせる。カンヌ国際映画祭審査員特別賞を受賞。

'62(松竹京都)◎滝口康彦◎橋本忍◎宮島義勇◎戸田重昌、大角純平◎武満徹◎仲代達矢、石浜朗、岩下志麻、丹波哲郎、三国連太郎、三島雅夫、中谷一郎、佐藤慶、稲葉義男、井川比佐志、武内亨、青木義朗、松村達雄、小林昭二

K-14 4/12(水)3:00pm 4/26(水)6:30pm 5/16(火)6:30pm

### 怪談(161分・35mm・カラー)

小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の残した怪奇譚から、「黒髪」「雪女」「耳無芳一の話」「茶碗の中」の四編を水木洋子が脚本に構成して映画化されたエピソード・フィルムで、出品されたカンヌ国際映画祭では審査員特別賞を受賞した。「プリリアントではあるが時に冷徹なまでに分析的な演出」(ヴァレエティ紙)といった批評が書かれたほど、幻想的な色彩の表現や実験的な音の使用も含めすべてが細部にわたって計算されつくされている。

'64(にんじんくらぶ)◎小泉八雲◎水木洋子◎宮島義勇◎戸田重昌◎武満徹◎第一話「黒髪」:新珠三千代、渡辺美佐子、三国連太郎、石山健二郎、赤木蘭子／第二話「雪女」:仲代達矢、岸恵子、望月優子、菅井きん、千石規子／第三話「耳無し芳一の話」:中村賀津雄、丹波哲郎、志村喬、林与一、村松英子、田中邦衛／第四話「茶碗の中」:中村砥右衛門、滝沢修、杉村春子、中村雁治郎、仲谷昇、宮口精二

K-15 4/12(水)6:30pm 4/26(水)3:00pm 5/17(水)6:30pm

### 上意討ち 一拝領妻始末一

(121分・35mm・白黒)

初の時代劇「切腹」は国内外で高い評価を受けた。次作の「怪談」とともにカンヌ国際映画審査員特別賞を連続受賞したが、時代劇3作目で三船プロ第1回作のこの作品でも、ヴェネチア国際映画祭で国際映画批評家連盟賞の栄誉を受けた。主君のわがまま藩の身勝手さで腹をたてた忠義者が、周の者の忠告を無視して息子とともに上意討ちの一隊に立ち向かう。小林作品に顕著な、理不尽なことに対する怒りが重厚に描かれている。タシケン映画祭作品賞。キネマ旬報ベストテン第1位。

'67(東宝=三船プロ)◎滝口康彦◎橋本忍◎山田一夫◎村木与四郎◎武満徹◎三船敏郎、司葉子、加藤剛、仲代達矢、神山繁、三島雅夫、山形勲、江原達治、松村達雄、佐々木孝丸、浜村純、市原悦子、大塚道子、山岡久乃、日塔智子

K-16 4/13(木)3:00pm 4/27(木)6:30pm 5/18(木)6:30pm

### 日本の青春(129分・35mm・白黒)

遠藤周作が中年男の戦中・戦後史をほろ苦いユーモアで描いた小説「どっこいしょ」の映画化。学徒出陣の経験をもつ男が20年ぶりに初恋の人とリンチを加えた上官に再会、戦後日本の歪んだ社会状況と人間関係が浮きぼりにされていく。戦争とともに消えてしまった青春を、小林監督は自分史と重ね合わせるように描いている。善良な中年男の哀感を喜劇俳優の藤田まことが見事に演じ、また、白黒撮影による鬱屈した人間描写が素晴らしい。

'68(東京映画)◎遠藤周作◎廣澤榮◎岡崎宏三◎小島基三◎武満徹◎藤田まこと、新珠三千代、黒沢年男、酒井和歌子、佐藤慶、田中邦衛、奈良岡朋子、花沢徳衛、武内享、山本清、菅貫太郎、橋本功、児玉泰次、田中幸四郎

K-17 4/13(木)6:30pm 4/27(木)3:00pm 5/19(金)6:30pm

### いのち・ぼうにふるう(121分・35mm・白黒)

山本周五郎原作の「深川安楽亭」を仲代達矢夫人の隆巴が脚色。四方を掘割に囲まれた一軒の居酒屋を舞台に、世間からつまはじきにされた男たちの、たった一度の善意の成就に命をかける様が、重厚な演出で描かれている。甞右衛門、勝、仲代らの個性豊かな演技派俳優の競演もさることながら、室内劇の中心となる安楽亭のセツの見事さと、粗野ではあるが心優しい人間群像と荒涼とした野外を描写した白黒撮影が作品に花を添える。伊・タオルミナ国際映画祭審査員特別賞を受賞。

'71(東宝=俳優座)◎山本周五郎◎隆巴◎岡崎宏三◎水谷浩◎武満徹◎仲代達矢、栗原小巻、酒井和歌子、中村砥右衛門、勝新太郎、神山繁、佐藤慶、山本圭、中谷一郎、滝田裕介、近藤洋介、岸田森、山谷初男、植田峻、草野大悟、三島雅夫

K-18 4/29(土・祝)1:00pm 5/13(土)1:00pm

### 化石(201分・35mm・カラー)

公開時のパンフレットに掲載された述懐によれば、黒澤、木下、市川監督とともに旗揚げした「四騎の会」がTV用の企画を各々受け持つことになり、小林監督は朝日新聞に2年近く連載された同名原作の映画化を熱望した。フジテレビで8回(1時間枠)放映された後、16ミリから35ミリへのブローアップと再編集をほどこし、念願の劇場公開にこぎつけた。死を目にした老人の心象風景が、水墨画のようなカラー撮影で見事にとらえられている。

'75(俳優座=四騎の会)◎井上靖◎稲垣俊、よしだたけし◎岡崎宏三◎武満徹◎佐分利信、岸恵子、井川比佐志、山本圭、栗原小巻、小川真由美、佐藤オリエ、宇野重吉、宮口精二、杉村春子、稲葉義男、武内亨、横森久志、袋正

K-19 4/14(金)3:00pm 4/28(金)6:30pm

### 燃える秋(137分・35mm・カラー)

映画産業の衰退にともなう、映画外企業からの出資による製作が盛んになり、この作品では老舗デパートの協力をあおんでいる。老年の画廊経営者との愛人関係を清算し、自立を願うヒロインが出会ったのは、世界を駆け回る若き商社マンであった。京都やテヘランといった古い歴史・文化に彩られた場所を舞台に、自立する女性の愛と葛藤が描かれている。「化石」で描かれた心象風景を小林監督流のメロドラマにした作品ともいえる。

'78(三越=東宝)◎五木寛之◎稲垣俊◎岡崎宏三◎村木真忍◎武満徹◎真野響子、佐分利信、北大路欣也、小川真由美、上条恒彦、三田佳子、芦田伸介、井川比佐志、モアフィ、カーベ

K-20 5/3(水・祝)1:00pm 5/20(土)1:00pm

### 東京裁判(277分・35mm・白黒)

この作品は、大手出版社「講談社」の創立70周年記念事業として企画された。満州事変から太平洋戦争終結までの17年以上にもおよぶ今次大戦後、敗戦国日本が戦勝国連合によって裁かれた「極東国際軍事裁判」では、戦争指導者と目された約100名のうちA級戦犯28名の2年半におよぶ審理が行われ、結果として7名の絞首刑が執行されたが、その裁判記録と各事件に関連する当時の記録映像を駆使し、5年の歳月を費やした大作である。旧フィルムセンターの編集室で、小林監督が助手とともに、10日間ほど所蔵する映像資料を丹念に調査されたありし日々が思い出される。ベルリン国際映画祭国際映画批評家連盟賞受賞。

'83(講談社)◎稲垣俊◎小林正樹、小笠原清◎浦岡敬一◎武満徹◎佐藤慶

K-21 4/14(金)6:30pm 4/28(金)3:00pm 5/19(金)3:00pm

### 食卓のない家(145分・35mm・カラー)

1972年2月に発生したいわゆる「連合赤軍・浅間山荘事件」は、日本中の耳目を釘付けにしたが、それをモチーフにして円地文子の小説を発表して話題となった。同名原作を映画化したこの作品は、事件の犯人となった息子をめぐり、会社部長一家の苦悩と離散がそれぞれの立場から描かれている。一貫して人間の魂の抛り所を描き続けてきた小林監督は、熱望していた「敦煌」や「会津八一」の映画化を果たせないまま、これが遺作となってしまった。

'85(MARUGENビル)◎円地文子◎小林正樹◎岡崎宏三◎戸田重昌◎武満徹◎仲代達矢、小川真由美、中井貴恵、中井貴一、大竹しのぶ、平幹二郎、岩下志麻、真野あずさ、隆大介、竹本孝之、益岡徹、佐野浅夫、福田豊土、小林昭二、浜田寅彦

\*「特別追悼特集 偉大なる「K」」は3部構成となり、今回の第1期に続いて、第2期(黒澤明監督)は5月30日～7月29日、第3期(木下恵介監督)は8月8日～9月23日/10月3日～11月18日に開催します。第2期・第3期の詳細は、「NFCカレンダー-6-7月号」と「NFCカレンダー-8-11月号」に掲載されます。

特別追悼特集  
偉大なる“K”(1):小林正樹  
Homage to Three Great “K”s - Part 1: Masaki Kobayashi

日	火	水	木	金	土		
4月	2 3	K-1 息子の青春 まごころ (45分) (95分)	K-3 この広い空のどこかに (109分)	K-5 壁あつき部屋 (110分)	K-7 泉 (129分)	K-9 人間の条件 第一部・第二部 (206分)	
	9 10	K-2 三つの愛 (114分)	K-4 美わしき歲月 (125分)	K-6 あなた買います (112分)	K-8 黒い河 (110分)	K-10 人間の条件 第三部・第四部 (178分)	
	16 17	K-12 からみ合い (108分)	K-14 怪談 (161分)	K-16 日本の青春 (129分)	K-19 燃える秋 (137分)	K-11 人間の条件 第五部・第六部 (190分)	
	23 24	K-13 切腹 (134分)	K-15 上意討ち 一拝領妻始末 (121分)	K-17 いのち・ぼうにふろう (121分)	K-21 食卓のない家 (145分)	K-18 化石 (201分)	
	30	K-2 三つの愛 (114分)	K-4 美わしき歲月 (125分)	K-6 あなた買います (112分)	K-8 黒い河 (110分)	K-11 人間の条件 第五部・第六部 (190分)	
	5月	1	K-1 息子の青春 まごころ (45分) (95分)	K-20 東京裁判 (277分)	K-9 人間の条件 第一部・第二部 (206分)	K-10 人間の条件 第三部・第四部 (178分)	K-11 人間の条件 第五部・第六部 (190分)
		7 8	K-2 三つの愛 (114分)	K-3 この広い空のどこかに (109分)	K-5 壁あつき部屋 (110分)	K-7 泉 (129分)	K-12 からみ合い (108分)
		14 15	K-3 この広い空のどこかに (109分)	K-5 壁あつき部屋 (110分)	K-7 泉 (129分)	K-12 からみ合い (108分)	K-18 化石 (201分)
		20	K-4 美わしき歲月 (125分)	K-6 あなた買います (112分)	K-8 黒い河 (110分)	K-13 切腹 (134分)	K-19 燃える秋 (137分)
		26 27	K-9 人間の条件 第一部・第二部 (206分)	K-10 人間の条件 第三部・第四部 (178分)	K-11 人間の条件 第五部・第六部 (190分)	K-21 食卓のない家 (145分)	K-20 東京裁判 (277分)

■作品により開映時間が異なりますのでご注意ください。

図書室カレンダー

赤字は休室日

4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1	1	2	3	4	5	6	
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
30													



日本の青春



上意討ち 一拝領妻始末

展示室

平成10-11年度 東京国立近代美術館新収蔵作品展

From New Acquisition to the Museum Collection 1998-1999

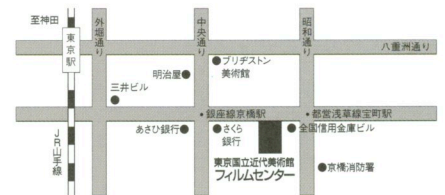
4月4日(土)～5月20日(土)

平成10年度、11年度に新収蔵された美術作品のうち、未展示作品を中心に、約70点を展示します。出品作品は、今村紫紅《時宗》(1908年)、青木繁《運命》(1904年)、松本竣介《Y市の橋》(1943年)、ホアン・グリス《円卓》(1921年)、恩地孝四郎《巖の内》(1939年)等の、明治から現代までの日本画、洋画、素描、版画、彫刻。日本画については一部展示替を行います。(前期:4月4日～22日、後期:4月25日～5月20日)

2階受付では、「NFCニューズレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイヴやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイヴ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:  
営団地下鉄銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
営団地下鉄有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: NTT東日本ハローダイヤル 03-3272-8600  
東京国立近代美術館ホームページ: <http://www.momat.go.jp/>